

ひの 議会だより

No. 131

令和4年2月

発行/鳥取県日野町議会



日野に生きる 第6回

写真は奥渡彩り倶楽部

集落再生の息吹が聞こえる

裏表紙に記事を掲載しています。

主な内容

- ・ 新年の挨拶/議会アンケート調査のお願いP2
- ・ 12月定例会/補正予算・条例改正・人事P3~7
- ・ 10月臨時会/11月臨時会P8
- ・ 一般質問(4人)P9~12
- ・ 委員会活動報告P13~15
- ・ 日野に生きる「集落再生の息吹が聞こえる」P16

令和4年 新しい年を迎えて



日野町議会 議長 小谷 博徳

新年あけまして

おめでとうございます

令和4年の幕開けです。

今年の干支は寅。虎は勇猛果敢に挑むところから、壁を突き破り運気を呼ぶところから、壁を突き破り運気を呼

び込む、機敏に挑戦するなど縁起の良い年と言われています。まさに本町の現状打破、再生に向かう年と期待を寄せたいと思います。

町の大きな課題は、①人口の減少、②高齢化、③過疎化であります。

このままいけば、20年後には町の人口が600人位になるという心配があります。高齢化率が50%を越し、町の産業が衰退し、教育・医療・介護の存続にも影響します。

地域に出かける常任委員会等で、町民が抱える身近な課題の解決に向けて取り組んでいきたいと思っております。

町民の課題であるイノシシなどの屠体処理、タクシー料金の500円化等を町長に政策提言しています。

議員任期も残すところ1年数ヶ月となりました。町民の声を政策化する仕上げの年でもあります。住民の皆様の声を具現化するためにも、自治会や団体などに出かけていきますので、ご意見を聞かせてください。

一層のご支援をお願いします。



新年の挨拶

議会改革推進特別委員会より

議会に関するアンケート調査のお願い

日野町民の皆さまへ

平素より日野町議会の運営にご理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

本町議会は、議員全員による議会改革推進特別委員会を組織し、議会改革に取り組んでいます。その一環として、平成30年には「チャンネルひの」で本会議の中継放送に踏み切り、さらに今年度からは予算説明を内容とする全員協議会の中継も始めました。

この議会中継についてのご意見をはじめ、今後の議会改革の参考にさせていただくため、各分野にわたってアンケート調査を実施いたしたく思います。ご協力をお願いいたします。

○アンケート用紙と返送用の封筒は、本誌「ひの議」会だより」に挟み込んであります。

○記入されましたら、返送用封筒に入れて投函してください。切手は不要です。

○用紙は1世帯に1部しか配布できませんが、できるだけ多くの皆様のご意見をいただくため、スマートフォンを活用することになりました。左のQRコードを読み取っていただければ簡単に提出できます。ご家族全員でご応募ください。

○返送の締め切りは令和4年3月15日です。

○アンケート調査の結果は、「ひの議」会だより」でお知らせします。



12月定例会

12月7日～
12月16日

義務教育学校建築事業 総額10億2,730万円

令和5年4月に開校予定している義務教育学校「日野学園」について、9月定例会に補正した改築費3億162万円に続いて増築部分7億2568万円を追加するものです。

工事期間中の根雨小学校児童の学びの場を日野中学校とするため、必要な費用も含まれます。

一般会計補正予算（第10号、第11号）

7億6664万7千円増額し、予算総額が49億8880万6千円になりました。

主な歳入（収入）

- 国・県からの収入
- ・子ども・子育て支援事業費補助金 143万5千円
- ・感染症予防事業 75万8千円
- ・学校施設環境改善交付金 1億1110万円
- ・子育て支援交付金 10万7千円
- ・国民健康保険基盤安定費 78万1千円
- ・枠内は補正第11号
- ・子育て世帯臨時特別給付金 1550万円
- ・原油価格高騰に係わる支援補助金132万7千円
- 繰入金預金取り崩し
- ・財政調整基金を取り崩し 2258万2千円
- 町債（借入金）
- ・し尿処理施設整備事業債 310万円
- ・義務教育学校建設事業債 6億780万円

主な歳出（支出）

- 義務教育学校建設事業費 7億2568万2千円
- 内訳 増築工事請負費 7億150万円
- 工事監理委託料他 1894万4千円
- 根雨小学校仮移転費 523万8千円
- 児童手当事務 143万6千円
- ・特例給付に所得上限が設けられるためシステム改修
- ・枠内は補正11号
- 下棟改良住宅解体工事追加工事 242万円
- 子育て世帯臨時特別給付金 1550万円
- 原油価格高騰に係わる生活支援事業 1422万5千円
- 全世帯に1世帯当り1万円分の灯油・ガソリン購入券を配布

主な質疑

○教育委員会一般管理費
バス運行委託料 95万円
・小・中学校土曜日授業、部活動に係るバスの運行費
予算に不足が生じたため
○町議会議員補欠選挙
267万7千円

議員 バスの運行費、1便当たりの増額の根拠は。

教育課長 10月までのものを月数で割った額を基にして概算で上げています。

議員 原油高騰に係る支援の県制度設計は、1世帯5千円の灯油購入補助であるが、本町はガソリン購入も補助対象とし、さらに1万円にした理由は。

町長 原油価格の高騰が家計を圧迫していることに対する補助であり、灯油だけでなくガソリンも同じく影響を受けていることから町独自の考えで全世帯対象とし1万円としました。

議員 地方創生臨時交付金が来てからの給付

でもよいのでは。基金を取り崩す意味も不明である。

町長 交付金が出たら財源振替する。基金はこのような時に使うものだと思います。

議員 義務教育学校日野学園は、当初5億円程度の事業という説明であったが、補正追加が7億2568万円。トータルでこの事業の予算は10億2730万円になります。ここまで予算が膨らむと疑問が残る。丁寧な説明を求めます。

町長 当初、5億円以上とで申し上げました。経費の節減も検討をさせました。



高騰するガソリン

結果的に10億円を超える金額になりましたが、子供たちのために義務教育学校を良い環境にすることを第一に考えないといけないと思っています。

住民説明は、12月9日、10日に予定しています。

議員 10億円は町民1人当たりいくらの借金ですか。

町長 事業費10億円の補助金が確定していませんが、予想では3億円。過疎債で7億円借入すると約5億円が交付税で収入になります。実質返済額は2億円ですから、町民一人当たり10万円弱です。



日野中学校

議員 根雨小学校から日野中学校への引越越し費で約600万円弱の予算がついています。黒坂小学校の校舎で十分授業ができると思うが、なぜ日野中なのですか。

教育課 仮に黒坂小学校を委託費とか機器移設業務はかかります。かからないのは、エアコンの設置とかトイレの改修工事です。

黒坂小学校に根雨小学校の児童が行くためのバスの運行委託料が一方でかかってくる。それを試算し比較すると、100万円ぐらい日野中を使用した場合の予算が高いです。予算的にはそういう議論をしました。

もう一方で、子供たちが学ぶ環境としてどうかというところも非常に大事なところ。根雨小学校とか黒坂小学校の学校の独自性というところが十分に発揮できないのではないかと。

それが、最後の1年間という形で閉校を迎える学校それぞれとして、しっかりと根雨小学校は根雨

小学校の教育をしていきたい、黒坂小学校は黒坂小学校の教育をしていきたい、日野中学校は日野中学校の教育をしていきたいというところを、大切にさせていただいたところです。

議員 住民説明会をやつて、そこで住民の反応があり住民の声が出て、改めて検討、議論があり、それから議案を上げて採決するのが普通じゃないかと思うのですが。

町長 9月のシンポジウムのときには、工事費の積算ができていませんでした。

住民説明会を12月9日、10日に開きます。今、議会では住民の代表の議員の皆さまにご説明もさせていただいています。

議員 住民説明会をやつて住民の声が上がってきます。その声をしっかりと議論、討論する前に決めてしまうというやり方で住民の理解は得られると思っていますか。



解体される根雨小学校昇降口

町長 保護者・住民説明会で、検討の経過など、令和5年開校に向けて御理解を得られるような説明を当然事務方で進めていきます。意見交換などの場もあると思います。

議員 改築の図面を見ると多目的教室、多目的空間が多いように感じます。結果的に事業費が増大しているのではありませんか。

教育課 日野学園の教育内容の一部に、故郷を愛する心の育成「ふるさと教育」を取り入れます。

地域の方との交流、地域と一体となった教育が大切と考えます。そのため多目的な空間、地域の方が気軽に立ち寄れる場所を確保しました。



一般会計補正予算（第10号）の討論

反対討論 義務教育学校設立に係る10億円以上の総予算が町民・議会に提示されたのは、予算審議の直前でした。これほどの巨額の投資をするので、町民に考える時間を与えるべきです。地域と共にある義務教育学校なので、もう少し丁寧に住民説明がなされるべきです。従って予算案に反対します。

賛成討論 補正予算の大半を占める義務教育学校建設事業は、少子高齢化・人口減少の日野町に、持続可能な教育体制をもたらす大事な事業です。約10億円の建設費用も、補助金や過疎債の交付税措置等の活用で実質的な町の負担は2億円強であります。これらは町の財政計画に組み込まれています。そのほかの予算もいずれも本町にとって必要な事業であり、賛成です。

反対討論 最近になって提示された総投資額10億円以上という数字に対して、10年後、20年後の義務教育学校の生徒数を考えた時、本当にこれだけの費用をかけるべきかどうかの議論がなされていません。その点において予算案に反対します。

賛成討論 この予算が通れば義務教育学校の建設への道が整います。これを機会にエレベーターの設置やバリアフリーなど、子供達や地域にとって最高の教育環境を整えることができることになりました。あとは教育内容を充実して魂を入れていただきたい。その観点から賛成します。

特別会計補正

○国民健康保険特別会計
補正額 111万6千円
予算総額

4億503万7千円
・国保税軽減額の実績見込み増に伴う基盤安定繰越金の増額のため国保財政調整基金に積み立てる。

○介護保険特別会計
補正額 26万7千円
予算総額

6億5603万3千円
・居宅介護サービスが減少し施設介護サービスが増加のためと過年度負担金等返還金

○簡易水道特別会計
補正額 △838万6千円
予算総額 8425万4千円

○公共下水道事業特別会計
補正額 △645万2千円
予算総額 8408万9千円
・日野高校入り口の水道管、下水道管布設替工事が次年度に繰り越されたため

○農業集落排水事業特別会計
補正額 19万6千円
予算総額 4425万1千円

・黒坂処理場電気料増加



町営住宅

条例改定・制定

○日野町国民健康保険税条例の一部改正

・子育て世帯の経済的負担軽減の観点から、国民健康保険税について、子どもに係る被保険者均等割額を軽減する。

○日野町国民健康保険条例の一部改正

・出産一時金の給付額42万円を維持するための数値の改正

○日野町営住宅等売却条例の制定について
・現入居中の一部の町営住宅等の購入を希望された場合、売却に必要な事項や売却価格を定めるもの。

反対討論 町民共有の財産を売却する条例は、慎重に議会と議論するべきです。

町長が決定する裁量が大きすぎます。

賛成討論 長年、町営住宅に入居された方が、住宅を取得でき入居者が町へ定住できるものです。

反対討論 条例の意義は評価します。施行令や要綱を整備し、合わせて議論したいので再提出を望みます。

賛成討論 過去に改良住宅等を売却した例があります。買い手の希望がなければ、多額の費用をかける解体しています。

賛成4人、反対4人の同数のため、議長裁決で否決



**鳥取県西部広域行政
管理組合うなばら荘の
廃止に伴う財産処分に
関する協議**

うなばら荘の廃止に伴う
財産処分に關し、議会の議
決が求められました。

1.うなばら荘に係る土地に
ついては日吉津村に譲与し
うなばら荘基金に属する現
金は構成市町村に分配

2.処分する財産調書

土地 1万2130・49㎡
建物 本館・車庫等

3329・656㎡
譲渡価格 41万5800円

譲渡の相手先

米子市皆生4丁目2番地28
株式会社ヤードクリエイシ
ョン

・譲渡相手の用途は、アス
リートの拠点で西部地域の
活性化に繋がる。

譲渡理由 解体すれば3億
円以上かかり本町の負担は
1千万円以上かかるため。

指定管理者指定

日野町下榎1186番地
日野町農産物加工所の指定
管理者に

鳥取西部農業協同組合
代表理事組合長

谷本 晴美氏に

令和4年4月1日から令
和7年3月31日まで指定す
る。

日野町監査委員の選任

再任
長谷部 正人

任期
令和3年12月21日から
令和7年12月20日まで

賛成8人、反対0人、選任
に同意しました。



日野町農産物加工所（大夢多夢）

意見書の提出

保育所等の最低基準(職員配置・面積基準)と保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書

コロナ禍でも基本的に開所が求められている保育所等の施設では、感染対策をしながら、子どもの命と健康を守り、発達を保障する保育が行われている。しかし、感染対策を徹底することで日常の業務量が増え、また、保育の営みにおいては「密」を避けることは困難であることなどから、職員の精神的・肉体的な負担が大きくなり、このことが保育士不足に拍車をかけている。

岸田政権が分配戦略の柱に掲げる保育士などに、来年2月から3パーセント程度の賃上げを決定したが、貧しい保育士配置のなかで、わずかな賃上げでは処遇改善には程遠いと言わざるを得ない。

コロナ禍への対応として、保育所等における「密」な環境を是正し、感染対策を徹底し、手厚い保育を行うためにも、保育所の施設・職員配置基準の改善が急務である。

小学校では、コロナ禍を受けて少人数学級化の全学年での実施が決まり、順次実施されている。令和3年度『学校基本調査』によれば、公立小学校の学級あたりの平均児童数はすでに22.7人になっており、今後20人前後の学級が増えると予測されるが、小学生よりも幼い乳幼児が長時間生活する保育所等の4・5歳児の配置基準（子ども30人に保育士1人）は70年以上も放置されているのは由々しき事態と言わざるを得ない。

コロナ禍のなかで、保育環境の改善、職員の処遇改善を求める保護者、職員、地域住民の声は大きくなっており、いまこそ国が責任をもって改善をすすめることが求められている。

よって、国におかれては、必要な財源を確保し、下記の事項について実現されるよう強く要望する。

1) 国は「保育所等の最低基準（職員配置・面積基準）と保育士の処遇を、抜本的に改善すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

日野町議会

令和3年12月16日

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、内閣府特命担当大臣(少子化対策)



審査報告

陳情審査報告

1. 採択とすべきもの 件名

日野高等学校黒坂校舎グラウンドの陸上競技場トラック整備についての陳情書
(受第8号 令和3年11月25日 日野郡陸上競技協会 会長 竹永明文外8名)

理由

日野郡で行われる「郡民体育大会」や「四県四郡市体育大会」などの歴史ある体育大会を継続して開催し、スムーズに運営していくためには、雨天でも利用できる陸上競技場の整備が求められています。

ときに、鳥取県立布勢陸上競技場の全天候型トラックの張替え改修工事が行われ、このトラック舗装を希望する団体に払い下げる計画があります。

これを利用して、日野高等学校黒坂校舎グラウンドの陸上競技場を日野郡3町が連携してスポーツ活動拠点として整備することは、本町をはじめ郡内のスポーツクラブ育成やスポーツコミュニティの醸成に繋がると認め、採択といたしました。

日野高等学校黒坂校舎グラウンド



教育民生常任委員会

採決

令和3年 第12回日野町議会定例会(12月)議案採決	中山法貴	梅林敏彦	金川守仁	松尾信孝	中原信男	安達幸博	佐々木求	竹永明文	採決
日野高等学校黒坂校舎グラウンドの陸上競技場トラック整備についての陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
日野町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
日野町国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
日野町営住宅等売却条例の制定について	×	×	○	×	○	×	○	○	否決
日野町農産物加工所の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
鳥取県西部広域管理組合営うなばら荘の廃止に伴う財産処分に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度日野町一般会計補正予算(第10号)	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
令和3年度日野町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度日野町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度日野町簡易水道特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度日野町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度日野町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度日野町一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
保育所等の最低基準(職員配置・面積基準)と保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

令和3年

臨時会

10月27日

新型コロナウイルスワクチン

3回目の接種予算承認

一般会計補正予算
(第8号)

主な内容

○新型コロナウイルスワクチン接種事業2259万円
・新型コロナウイルスワクチンの3回目接種に係る諸費用を新たに計上するもの。

○農業用施設災害復旧事業
130万円

・小河内地区水路改修工事及び黒坂地区農道改修工事に係るしつかり守る農林基盤交付金事業分担金の減額と、小河内地区水路のり面改修工事及び上菅地区水路改修工事に係る農業水路等長寿命化・防災減災事業分担金

採決

臨時会に付議された議案は全員賛成で可決されました。

臨時会

令和3年

臨時会

11月24日

子育て世帯を支援する

臨時特別交付金 1,658万円

一般会計補正予算
(第9号)

主な内容

○子育て世帯臨時特別給付金
1658万6千円

・子育て世帯を支援するため、児童手当の対象児童、及び生計維持者の所得が制限限度額未満の児童等に支給する特別給付金の諸費用を計上する。

主な質疑

○新型コロナウイルス感染症対策費

議員 対象者は何人か。また、高校生への通知はするのか。それは保護者に対してか、あるいは本人に通知するのか。時期と手法を説明してください。

課長 310名を対象にしておりま

す。周知徹底方法は、システム改修を行い、そのシステ

人事

ムで対象児童を抽出することができません。よって、申請漏れを無くする観点から、保護者に対して個別通知でご案内をする予定にしております。時期については、12月中旬を予定しております。

○監査委員の選任

前任の山形克彦氏の辞職により委員空席となつている議会選出監査委員に中山法貴議員を選任することについて同意しました。

採決

臨時会に付議された2議案は全員賛成で可決されました。





松尾 信孝議員

Q 集落を回る住民対話はできたか

A 十分にはできませんでした

議員 先ほどの答弁の中で、「かねもちテラス」と言われましたが、正式には「かもちテラス」ではないでしょうか。

町長 今、副町長に確認しましたが「かもちテラス」でした。いつも使っているのでつい出てしまいました。

公約の成果を伺います

議員 「集落を回り、町民との対話を継続して行い、町政に生かす」との公約とは裏腹に、就

任直後の介護保険の時は降は、集落での対話はほとんど行われなかったのではないのでしょうか。

町長 就任直後、各集落を回ったことは有意義ではあったと思うが、その後直接お話を聞く機会は十分でなく、特に後半はコロナ関係でできませんでした。

議員 百歳体操のほぼ全町普及は評価します。一方で副町長が任期のほぼ三分の一不在であったの

は失政です。

町長 現在は副町長には、職員への指示の徹底とか対外的な会議等への代理出席などで、町政に貢献してもらっています。

議員 街並みを活かした観光振興での活性化は、旧合銀建物の取得以降進展していません。

町長 文化財保存活用計画の策定を待っています。

議員 計画実現に不可欠の住民との対話はしていますか。



事務局体制の強化と規定類の充実が急務の日野町社会福祉協議会

町長 まだです。

社協の現状についての認識

議員 日野町社協の現状について認識を伺います。

町長 経験の浅い職員さんたちが一生懸命にやられています。事務局長含め人の入れ替わりが激しかったり、不都合なことが起こったりしています。県の指導監査の指摘もあり、内部体制の確立、規定などのルールの整備が急務であると思っています。



かもちテラスです





金川 守仁議員

Q 今後のまちづくりの意気込みは

A 第2期日野町創生戦略を継続する



日野中学校校舎



黒坂小学校校舎

議員 まちづくりを進められる思いを伺います。

町長 この4年間の任期中は、自然災害に対する復旧、復興の2年間、そして新型コロナウイルス感染症対応と町民の皆様の安全安心に全力を尽してまいりました。

そういった環境の中、保健・医療・福祉の充実への取り組み強化と、がんばる地域プランにおける新たな

を、社会教育づくりの拠点として活用されるお考えはありませんか。

町長 跡地利用検討委員会を立ち上げ検討しています。黒坂小学校については、集落支援員のコミユニティセンター拠点、防災センターの拠点、みんなが集える公園や公民館、役場支所、社会福祉協議会等があり、一か所に集約した

ほうが良いことも視野に入れて検討しています。

日野中学校については、ある程度特定の目的に沿った使い方が良いのではないかと思います。乳幼児の親御さんが集う場所、また、大災害時に役場機能を担う場所、若者から高齢者まで多くの町民の皆様が集い、語り、活用できる場として考えています。

議員 日野学園の開校に向かう一方で、役目を終えた日野中学校と黒坂小学校跡地の有効活用

特産物なども芽を出してきています。安全で安心して暮らせる、住んで良かったと思える、誇りをもって未来に引き継げる町を目指して第2期日野町創生戦略「町が継続していくために」に取り組む思いです。

閉校となる校舎の跡地利用は



私たち町民の暮らしを守る日野町役場庁舎





梅林 敏彦議員

Q バス減便の救済策を 考えているか

A 前向きに検討している

害獣の処分を埋め立てから
焼却に変更できないか

議員

前議会の質問で「猟友会の労力軽減のため、解体後の処分を埋め立てから焼却場での焼却に移行できないか、地元自治会に相談してみても」と提案しました。その後の対応を伺います。

町長

江府町長、日野町長、3町衛生施設組合事務局長とで協議したうえで地元自治会と話し合いを持ち、来年度に実証実験

を行うことを了承していただきました。

黒坂地区活性化対策を

議員

黒坂小学校廃校後の跡地利用については、検討委員会の検討と並行して住民の意見を広く聴く場を設けるべきだと考えますが。

町長

委員会からの報告書が提出された後、住民の意見を聴く機会を設けたいと思います。



鳥獣被害を食い止めるために

議員

住民に当事者意識を持ってもらうためにも、1回だけの形式的開催ではなく継続的開催を提案します。

町長

また今年度から昼間のバス便が廃止され、遠隔地から通院される方は行きはバスで2000円でも帰りはタクシーで千円。この方々を救う方策を考えていますか。

総務経済委常任委員会からも、町内限り試行的に一律500円

日野町営バス時刻表	
停留所名 黒坂駅前	
【菅福線(生山駅前～根雨駅前)】	
生山駅行	根雨駅行
07:07	07:46
16:34	17:11
18:12	18:49

【ご案内】
●運賃：大人200円 小人100円(一律)
運賃はお降りの際、運賃箱へお入れ願います。

通院者にとって昼間のバス便廃止は
実質的な値上げに等しい

議員

これまで繰り返し提案してきた「専任」の集落支援員の採用を、来年度の当初予算に組まれますか。

町長

菅福地区に1名、黒坂地区振興及び町全体として1名、計2名の専任支援員採用を来年度当初予算に計上する予定です。



Q 介護保険の負担軽減を

A 基金の取崩しで対応する



佐々木 求議員

議員 介護保険料は第7期では西日本で断トツの高さでしたが、第8期の今回は多少の引き下げを行い、住民負担の軽減が行われたことは評価します。

ただ、基金はいくらあれば安心だと考えているのか。今後利用者にとっての還元の方法を考えているのか。また、8期の計画の予測はどういう状況と受け止めているのか。



おしゃべりは健康のもと

町長 7期で急激な値上げを実施しましたが、ある程度の基金が残るよう設定すべきと考えています。1千万〜2千万円程度確保したいと思います。

令和2年度末の残高が、5700万円なので4千万円取り崩すこととしています。8期では月額601円値下げします。11月末現在で給付費見込み約5億9千万円に対し、実績5億7千万円と下回る見込みです。

医療資源を守ろう

議員 政府は地域医療構想の検討を急ぎ始めました。コロナ禍で入院ベッドの不足、医療資源の不足が叫ばれる中、全国で424病院の整理統合の計画もまったく変えず、第8次医療計画に反映させようとしている。日野郡にとっても重大で、

いま一度連携を強め、国に対し、郡の医療資源を守るため提起していくべきです。

町長 政府の対応は他人事ではありません。机上の空論としか言えない発表に憤りを感じています。実情を十分考慮し、画一的な対応や強制的な調整は行わないよう強く要請しました。



健康寿命を延ばそう



委員会 活動報告

総務 経済

常任委員会

日野町商工会との意見交換
(11月19日)

委員会では、一連の町内事業者(団体)との意見交換による課題の把握と解決への対策の一環として、日野町商工会(中西康夫会長)と意見交換を行いました。

冒頭、商工会の現状に関して、会員数はかつての3分の1に減り、商工会の人員費等の運営費負担が重荷となっており、町からの引き続きの補助(現状約150万円)をお願いしたい旨の要請がありました。意見交換での話題を要約

すると以下の通りです。
○一番の課題は後継者育成による事業の継続である。都会に出ている子供たちを呼び返せる魅力を、どう作り上げるか。

○日野町にはまだまだ魅力が沢山ある。都会の人たちの価値観も多様化している。それらをつまく発信すれば、全国から人(後継者・新規事業者)が来るのではないか。
○日野町に興味を持った人たち(ーターン・Uターン等)を受け入れる・つなぎ止める体制のさらなる充実、例えばフンストップサービスが必要である。
○インターネットの活用による販路の拡大は効果があるが、競争者も出やすい。



日野町商工会との意見交換会

事業内容はそれぞれの会員ごとに異なり、抱える問題も多岐にわたるが、共通して言えるのは「人材育成・後継者確保」の問題でありました。これは、農業をはじめ、これまで委員会が意見交換をしてきた本町の各事業団体が抱える課題です。

言い換えれば、すでに個々の事業体において自助努力で対応できるレベルを超えていると言っても過言ではありません。

今後は町も『人材の確保』をキーワードに、この分野に戦略的かつ重点的に支援をする必要があると感じました。

町長に提案書の提出
(10月29日)

委員会では、町民の皆さまの声を町政に反映させるため、議長と連名で次の内容の提案書を町長あてに提出しました。

(1)害獣(猪や鹿など)捕獲後の処理に関して
くぬぎの森での焼却について

では、3町衛生施設組合、地元との協議のうえ、短期間試行した後、再度協議するとの回答がありました。

(2)地域交通のあり方について

日中のバス減便・タクシー代替は、一部利用者に経済的負担増となっており、タクシー料金を町内一律最高500円で試験運行してみてもどうか、と提案しました。現在のところ具体的な回答はありません。

教育 民生

常任委員会

委員会開催
(10月12日)

◆議題
○義務教育学校「日野学園」開校に伴い閉校される施設の有効利用について

委員会は、閉校される施設の今後について担当課から以下のような説明を受けま

した。

跡地利用検討委員会を立ち上げて検討しています。

黒坂小学校についての意見は、集落支援員を配置するコミュニティ拠点、防災センターの拠点などの他、みんなが集える公園、役場支所、社会福祉協議会、公民館機能の一体化。日野中学校についてはある程度特定した目的で使用できることを考えて、例えば、乳幼児の親御さんが集う場所、大災害で役場機能を担う場所などに考えているとのことです。

今後も委員会が中心となり、検討を進めていることを確認しました。



閉校される黒坂小学校運動会の風景

委員会開催

(12月9日)

◆議題 陳情書の審査
○日野高等学校黒坂校舎グラウンドの陸上競技場トラック整備に係る陳情書

12月定例会に提出された標記の陳情書を受け、陳情者の同行を求めて現場調査を実施しました。

現在、グラウンドは日野高校黒坂施設の一部として管理されています。競技場として利用はされていませんが、年2回の草刈り作業が実施されており、荒地とはなっていないです。

併設のテニスコートは3面あり、かなり広大なスペースが休眠していることになりました。また、ナイター施設も完備されていますが、現在、使用できる状態にあるか否かは不明のことです。

以上の調査の結果、委員会としては、日野郡他2町の意向も確認したうえで、日野郡全体での活用を検討

する必要があると判断し、陳情を採択することとしました。



日野高校黒坂施設グラウンド

議会 広報

常任委員会

広報誌の研修会に参加
(10月27日)

鳥取県町村議会広報研究会が湯梨浜町で開催されました。本来であれば、委員6人全員が参加すべきなのですが、コロナ感染の渦中にあるため、昨年同様に委

委員会報告

員長と副委員長の2名が出席しました。

研修内容は、議会広報誌専門のグラフィックデザイナーである長岡光弘氏による「議会広報紙の編集及び表現ポイント」と題した講義でした。

講義の主要なポイントは、①議会の役割を表現する広報誌

②情報の構成を考慮した誌面構成

③情報をわかりやすく伝える企画と編集

④情報をわかりやすく伝える表現、の4つでした。

例年の研修会から一歩踏み込んだ実践的な講義で、出



読みやすい誌面作りを

席委員としても大いに触発される内容でした。

特に③と④の「情報をわかりやすく伝える企画・編集・表現」は、我が「ひの議会だより」に最も取り入れていかなければならない要素だと感じました。

研修を生かし、徐々に誌面に反映していこうと考えています。

消防委員会

日野町消防団員の
団員確保を目指して

今年度の消防委員会は、12月20日、山村開発センターで開かれ、議会から3人の議員が出席しました。

ちなみに、日野町消防委員会とは、本町の消防団に関する重要事項について町長の諮問に応えるとともに、町長及び議会に対して建議する組織です。委員長である町長をはじめ、消防団関係者2名、学識関係者2名、町議会議員3名の計8人で構成されています。

今回の開催では、消防団員確保のための団員の処遇改善について協議しました。

日野町消防団では団員数が定数に満たない状態が続いています。他市町村の動向や消防団員へのアンケート結果を踏まえて協議した結果、報酬・手当の引き上げに反対意見は出ず、来年度の町の予算案に反映させることとなりました。

また、赤バイ隊員の増員を協議し、普通自動二輪運転免許取得の費用への助成を続けることで、隊員確保を目指す計画となりました。



赤バイ3台には隊員6名が必要



講演会報告

主催 日野町議会

講演 日野郡の医療における問題点と将来展望

開催日 10月13日

会場 日野町文化センター

講師 日野病院組合病院長

孝田 雅彦氏

日野郡には、日南病院、日野病院、江尾診療所の3つの医療機関があります。人口減少が進む中、持続可能な地域医療体制の確保が大きな課題となっています。

今後予想されるのは、①急激な人口減少による医療収益の悪化②医師確保の困難化③以上2点によるフルスペックで医療体制を維持していくことの困難化、などです。

これらの課題に対し、講演では「日野病院が日野郡にあり続けることの意義」が、経済面や人の集まり、移住定住の視点から説得力をもって語られました。続いて、日野郡の医療機

関と鳥大病院の連携、人口減少・患者減少への対応策、医師確保のための地域医療学教室への支援、医療機器の導入（最新MRIを導入済み）、スマート日野ヘルスケア構想などが語られ、行政の支援が重要であることが強調されました。

孝田病院長講演の後、病院職員による「病児病後児保育」「透析治療患者の送迎サービス」「ICCTを活用した医療介護連携のための画像情報共有システム」の紹介が行われ、中身の濃い講演会となりました。



日野病院に最新のMRIが導入された

研修会報告

日野町議会議員研修会

講演 日野郡の農業振興

開催日 11月5日

会場 日野町文化センター

講師 鳥取県西部総合事務所

日野振興センター所長

栃本 義博氏

日野郡が取り組んでいる畜産、稲作、野菜など特産物づくりを政策に取り込み、それによって地域を育て上げる振興策をどのように進めるべきか。3町の実例を取り上げながら「地域プランづくり」の進め方について講演を聴きました。

少子高齢化は、日本全国の抱える問題であり、日野郡においても同様です。課題は山積していますが、「人・農地プラン」の作成に取り組み、この地に合った方向性を話し合うことが重要であると実感させられる研修となりました。

研修会報告

鳥取県町村議会議員研修会

講演① 「政策立案できる議会を目指して」

講演② 「コロナ後の市町村の対応と町村議会・議員の役割」

講演③ 「政策立案できる議会を目指す」

開催日 11月22日

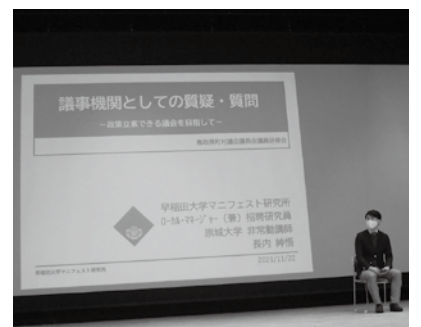
会場 三朝町総合文化ホール

講師 早稲田大学マニフェスト研究所 長内 紳悟氏

工学博士 新藤 勇治氏

長内氏の講演は、「話し合う」ことの重要性を軸に進められました。対話のルールとして「自分だけで話さず、相手の話に耳を傾ける」「相手の意見を否定しない」「断定しない」「沈黙（考える時間）を歓迎する」「意見を変えることを歓迎する」ことを挙げられました。

さらに、委員会による代表質問が行われている全国の議会の実例を挙げ、委員会内で質問内容の検討や反省会で話し合うことで、より深い質疑を展開できると



政策立案できる議会を

話されました。

また、新藤氏は、①コロナの動向とコロナ後の課題

②産業界の動向とコロナ後と町村議会・議員の役割

と題してコロナ禍の影響と対応策について解説されました。

ご案内

○チャンネルひので会議中継をご覧いただけます。

一般質問は、議員別に録画視聴ができます。

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ればご覧いただけます。

ぜひ、ご利用ください。





取材記事
シリーズ!

日野に生きる

第6回

集落再生の息吹が聞こえる

この『日野に生きる』は、日野町に住む人々の暮らしと想いをテーマにお届けする連載です。

人口減と高齢化によって山間地の小さな集落が年々疲弊していつていきます。これを阻止し、集落を元気にしようと、日野郡では令和元年から日野振興センターの職員さんが郡内3町の集落を精力的に巡り、住民への働きかけを行っています。

日野町においては、企画政策課の若手職員とタッグを組み、これまで16の集落に出かけて話し合いをし、地区毎の状況に応じた元気づくりの活動をスタートさせています。

今回は、そのうちの4つの地区の皆さんによる元気な活動を紹介します。

奥渡地区 奥渡彩り倶楽部を結成

奥渡では3つの集落が連携して週1回の村づくりカフェを始めました。



長楽寺を見学中の彩り倶楽部

カフェでは百歳体操の後、コーヒーを飲みながらの地域交流と情報交換を楽しんでいます。そして、このカフェから生まれたのが奥渡彩り倶楽部。公民館の庭に花を植え、手入れをする姿が自然発生的に見られるようになりました。

別所集落 農機庫で村の写真展開催

農機具小屋を片づけて、写真展示館を兼ねたカフェを誕生させました。昔の写真を各戸が持ち寄り、また別所出身の日置美也子さん（千葉県在住）撮影の懐かしい写真を展示しました。



懐かしい写真を集めて写真展

昔懐かしい音楽が流れる中、お年寄りから赤ちゃんまで集落出身者も集まって、賑やかなおしゃべりに花が咲きました。

かみかみすげ 上菅地区 ニンニク栽培に高校生も

上菅地区では、高齢者の引きこもり解消と健康促進が課題となっていました。また、田畑の荒廃も問題でした。



地域作りは生きがいも生み出す

そこで放棄地を耕してニンニクを栽培し、健康促進のために黒ニンニク作りを始めました。この活動には日野高校の生徒も参加してくれていて、今では生きがい作りのひとつにもなっています。

諏訪集落 竹堆肥で唐辛子を商品化

諏訪ではこれまで、竹林の拡大で生活環境の悪化に悩まされていましたが、この厄介者を地域おこしの起爆剤として活用し始めました。



ピリッと小気味良い辛さが評判

伐った竹を粉碎して堆肥化しました。その堆肥を使って唐辛子を栽培。地域特産品として販売も開始し、小さなコミュニティビジネスとなっています。

あとがき

町民の皆さん、新年明けましておめでとうございませう。

約2年に及ぶ、新型コロナウイルス感染症で生活様式が変わり、大変な日常生活をお過ごしのことと思っております。

新しい年となり、この感染症が全国的に収まり、安心して健康な暮らしができますよう、心から願っています。

議会も皆さんの日々の生活を一番に考え、この問題に全力で取り組んでまいります。

今年も、ご意見等をお寄せ頂き、議会活動に生かします。よろしくお願いいたします。

(記 中原 信男)

議会広報常任委員会

- 委員長 梅林 敏彦
- 副委員長 安達 幸博
- 委員 佐々木 求
- 委員 中原 信男
- 委員 松尾 信孝
- 委員 金川 守仁

